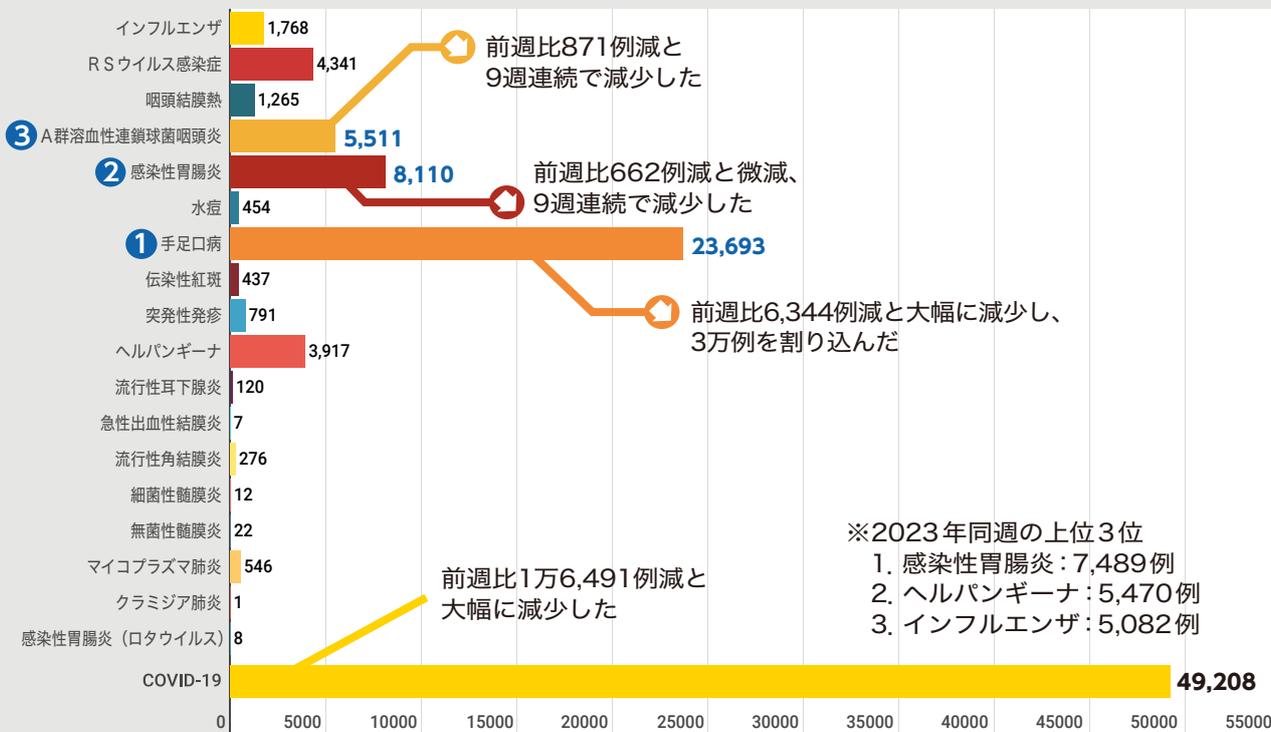


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎、鳥取で警報間近

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① 手足口病

報告数

- 東京都: 1,867例
- 愛知県: 1,699例
- 神奈川県: 1,397例

定点当たりの報告数(7.89)

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 青森県: 19.89 | 4. 滋賀県: 14.46 | 7. 山形県: 13.26 | 10. 三重県: 11.59 |
| 2. 宮城県: 16.80 | 5. 広島県: 13.37 | 8. 山口県: 12.33 | 11. 新潟県: 11.24 |
| 3. 岩手県: 14.90 | 6. 長野県: 13.29 | 9. 静岡県: 11.61 | 12. 北海道: 10.64 |

※その他23都道県で警報基準値(5.00)超え

② 感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 738例
- 千葉県: 498例
- 大阪府: 494例

定点当たりの報告数(2.70)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 8.61 | 4. 愛媛県: 4.41 | 7. 香川県: 3.86 | 10. 島根県: 3.65 |
| 2. 福井県: 4.88 | 5. 群馬県: 4.15 | 8. 熊本県: 3.76 | 11. 山形県: 3.59 |
| 3. 千葉県: 4.53 | 6. 宮崎県: 4.00 | 9. 岩手県: 3.65 | 12. 兵庫県: 3.54 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 福岡県: 385例
- 埼玉県: 352例
- 東京都: 338例

定点当たりの報告数(1.84)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 鳥取県: 5.79 | 4. 福岡県: 3.21 | 7. 岩手県: 2.88 | 10. 山口県: 2.53 |
| 2. 宮崎県: 3.97 | 5. 千葉県: 3.06 | 8. 愛媛県: 2.82 | 11. 北海道: 2.50 |
| 3. 大分県: 3.22 | 6. 長崎県: 2.95 | 9. 茨城県: 2.63 | 12. 埼玉県: 2.46 |

今週の感染症動向

手足口病は2週連続で大幅に減少し、3万例を割り込んだ。警報レベル(5.00)を超える地域は前週の40都道府県から第26週以来、6週ぶりに35都道県に減少したものの、いまだ全国的な流行が続いている。感染性胃腸炎は9週連続で減少した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎も9週連続で減少したが、鳥取県では定点当たり報告数が5.79と突出。東部地区と中部地区では7.75と警報レベル(8.00)に迫っている。ヘルパンギーナは宮崎県(6.00)が警報レベル(6.00)にある。COVID-19も1万例超の大幅減少で4万例台になった。夏季休暇シーズンを迎え、いずれも報告数は減少傾向にあったが、お盆期間の人流増加に伴う感染拡大が懸念される。